

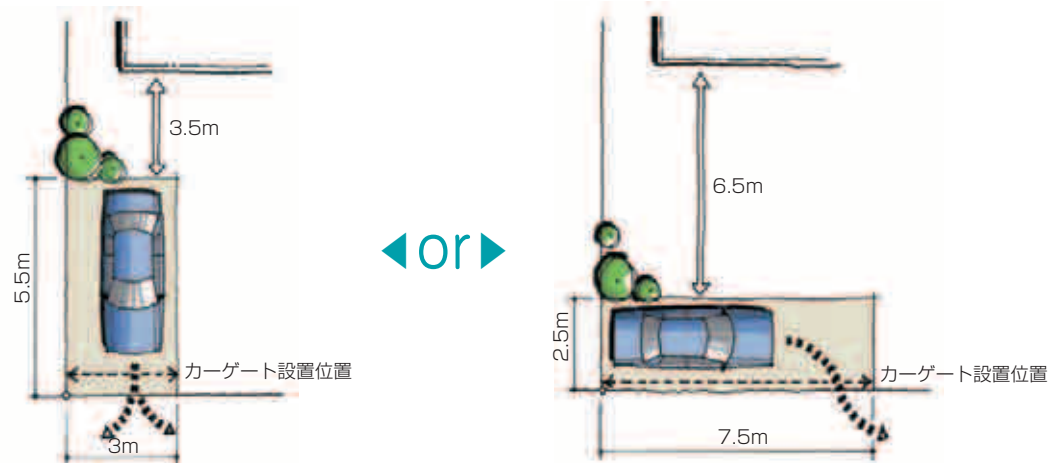
「私ならこう考える！ゾーニング手順と計画時のポイント」

ここではプランニングをする時に私が頭の中で考えることを言葉にしてみます。プランニングの際の参考にしてみてください。

1. 駐車パターンの検討

・直角駐車とするか平行駐車とするか

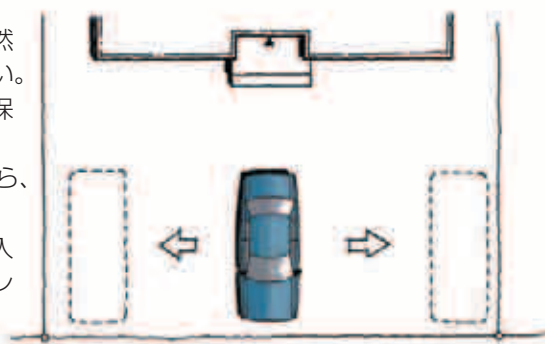
一般的に駐車場を考える場合、道路に対して直角に配置するパターンが一般的。その奥のスペース（建物の外壁から駐車場までの間）が極端に狭い場合は平行駐車とするが、今回のケースであればその必要もなさそう。さらにクローズドスタイルを要望されているので、直角駐車の方がカーゲートの納まりもよさそう。



2. 駐車スペースの位置

・駐車場を敷地のどこに配置するか

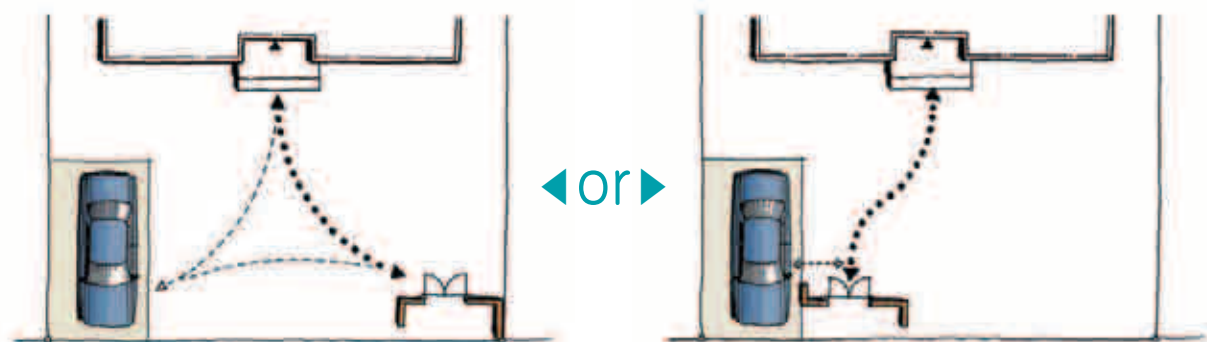
基本的には敷地の中央におくと、庭の提案が不自然になるので、左右の隣地境界側へ寄せて配置したい。まだ若いご夫婦なのでリビング前は主庭として確保したいので、西側（和室側）に寄せてみました。駐車場奥から建物まで2.5m程度は確保できるから、和室の前庭（坪庭）として、何か提案ができそう。カーポートを希望されているので、床に草目地を入れたいところだが、雨がかからない為化粧砂利かレンガ等でアクセントラインを入れてみよう。



3. 門まわりの位置

・機能的で無駄のない門の位置は

出来るだけまとまった広さの主庭を残したいことと、駐車場からの動線も確保したいので門まわりは駐車スペースに隣接させて計画した方がよさそう。



4. 塀の位置

・街並みを意識して考える

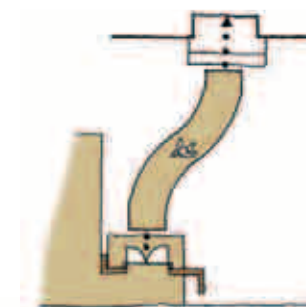
クローズドスタイルなので、道路面は駐車場と門まわり以外は塀としなくてはならないが、多少道路境界からセットバックさせ、グリーンベルトを確保して街並にも配慮したい。塀は上半分をフェンスとし、庭の植栽に対して日当たりと風通しを確保しよう。



5. アプローチのデザイン

・不自然なラインにならないように注意する

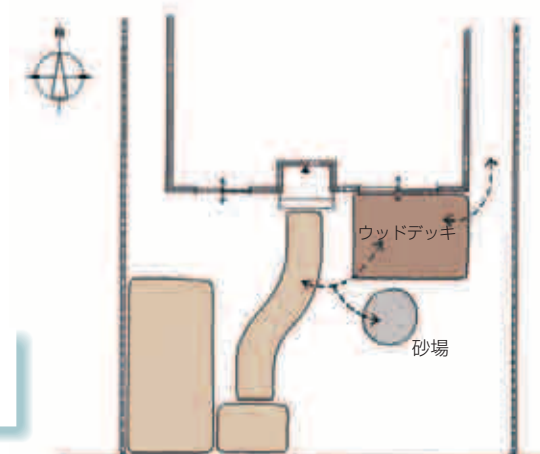
門の位置と玄関ポーチが多少ずれそうなので、クランク状にデザインしてみよう。直角でつくと動線的に不自然なので変形クランクがいいかも。道路と敷地に高低差が30cmあるので、階段はできるだけ門まわりで処理した方がよさそう。



6. 主庭のイメージ

・アプローチ、砂場、デッキのつながりを考える

施主の希望であるウッドデッキの形状もひと工夫して提案したい。砂場も近い将来使わなくなった時のことを考えてアドバイスしておこう。



模範解答は次号で掲載、解説しますので、以上のことを踏まえて素敵なプランを考えてみてください。

「エクステリア&ガーデンデザイナーの知的財産を守るキャンペーン」を応援します!!
図面やデザインを保護する
キャンペーンマークをご活用ください。



専用ホームページよりロゴをダウンロードできます。
<http://explanning.m78.com/Morals/>

今日、映像や音楽、書籍、ソフトや技術開発にいたるまで、あらゆる分野において、コピー防止や著作権等の確立による、知的財産を守るモラルアップが叫ばれています。エクステリア業界でも昨今、図面の横流しやデザインのコピー等が問題になっています。そこでこのたび、当講座の講師・古橋先生が「エクステリア&ガーデンデザイナーの知的財産を守るキャンペーン」を立ち上げられました。この運動は、悪質な施工会社やお客様に対して直接抗議するものではなく、あくまでも「私（弊社）は他社の図面を利用した悪質な営業行為はいたしません」という趣旨で展開されます。弊社もこのキャンペーン主旨に賛同し、積極的に応援いたします。「御庭番」の次回バージョンアップ時には、キャンペーンマークのダウンロードをご利用頂けるようになりますので、図面やパス等に貼ってご利用ください。エクステリア業界の地位向上とモラルアップのために、大いに活用ください。